



# PacketCable プロビジョニング

この章では、プライムケーブルプロビジョニング PacketCable 導入のプロビジョニングフローについて説明します。

- [自動 FQDN 生成 \(1 ページ\)](#)

## 自動 FQDN 生成

KDC がその FQDN に対して登録サーバをクエリするため、PacketCable 音声テクノロジーを設定するときに、完全修飾ドメイン名 (FQDN) が各音声デバイスのプライム ケーブル プロビジョニング データベースに存在する必要があります。プライム ケーブル プロビジョニング 自動 FQDN 生成機能は、単一の音声テクノロジーに制限されません。これは、あらゆるプライム ケーブル プロビジョニング テクノロジーによって使用される可能性があります。

## 自動生成された FQDN 形式

プライム ケーブル プロビジョニング は、デバイスの MAC アドレスや、IPv6 デバイスの DHCP 固有 ID (DUID) を使用する FQDN を自動的に生成します。

MAC アドレスを使用して自動的に生成された FQDN は、この形式に従います。

```
prefix{htype-hlen-aa-bb-cc-dd-ee-ff | 00:00:00:00:00:00:00:00}suffix.domain
```

- *prefix*、*suffix*、*domain* : プライム ケーブル プロビジョニング ユーザー インターフェイス または プロビジョニング API から設定した情報を特定します。
- *htype*、*hlen*、および *aa-bb-cc-dd-ee-ff* : デバイス MAC アドレスを特定します。たとえば、*1,6,aa-bb-cc-dd-ee-ff* です。
- *00:00:00:00:00:00:00:00* : IPv6 デバイスの DUID を特定します。

プレフィックスおよびサフィックスプロパティのエントリはオプションです。これらのプロパティを指定せず PacketCable MTA プロビジョニング中にホスト名が指定されていない場合、そしてプレフィックスやサフィックスプロパティがプライム ケーブル プロビジョニング プロパ

ティ階層で定義されていない場合、ドメイン名に続くデバイス MAC アドレスまたはデバイス DUID は、生成された FQDN として生成されます。

次の形式のみを指定する場合、FQDN 形式が変更されます。

- プレフィックスおよびデバイス ID :

*prefix{htype-hlen-aa-bb-cc-dd-ee-ff| 00:00:00:00:00:00:00:00} \ .domain*

- サフィックスおよびデバイス ID :

*{htype-hlen-aa-bb-cc-dd-ee-ff| 00:00:00:00:00:00:00:00}suffix.domain*

次に例を示します。

- プレフィックス **aaa**、サフィックス **bbb**、MAC アドレス **1,6 aa:bb:cc:dd:ee:ff** を持つデバイスは、生成されたこの FQDN があります。

`aaal-6-aa-bb-cc-dd-ee-ffbbb.domain`

- MAC アドレス (1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff) のみを持つデバイスは、生成されたこの FQDN があります。

`1-6-aa-bb-cc-dd-ee-ff.domain`

- プレフィックス **aaa**、サフィックス **bbb**、DUID **00:00:00:00:00:00:00:00** を持つデバイスは、生成されたこの FQDN があります。

`aaa00-00-00-00-00-00-00-00bbb.domain`

- DUID **00:00:00:00:00:00:00:00** のみを持つデバイスは、生成されたこの FQDN 必要があります。

`00-00-00-00-00-00-00-00-aa.domain`

- プレフィックス **aaa** および MAC アドレス **1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff** を持つデバイスは、生成されたこの FQDN があります。

`aaal-6-aa-bb-cc-dd-ee-ff.domain`

- プレフィックス **aaa**、MAC アドレス **1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff** を持つデバイスは、生成されたこの FQDN があります。

`1-6-aa-bb-cc-dd-ee-ffbbb.domain`

PacketCable およびその他のテクノロジーを設定するとき、ドメイン名プロパティも設定する必要があります。PacketCable MTA のプロビジョニング時にドメイン名を指定しない場合、プライム ケーブル プロビジョニング プロパティ階層が検索され、見つからない場合 MTA はプロビジョニングされません。

MTA プロビジョニング中にドメイン名を指定しない場合、プライム ケーブル プロビジョニング プロパティ 階層で指定されているドメイン名 プロパティ に関係なく、ドメイン名が使用されます。

## 自動生成された FQDN プロパティ

プロパティは、プライム ケーブル プロビジョニング プロパティ 階層で承認可能なポイントで定義可能です。システム デフォルト、テクノロジー デフォルト、DHCP 条件、サービス クラスを使用して達成でき、デバイス レベルでも実行できます。

## FQDN の検証

FQDN を生成するために使用される情報を入力する際に、考慮するいくつかの事項があります。これには次が含まれます。

- 生成された FQDN では有効な英数字のみを使用します。
- 各ラベルの長さ（生成された FQDN のドット間の文字）を 63 文字以下にします。
- 生成された FQDN 全体の長さは 254 文字を超えることはできません。



---

(注) FQDN は、RFC1035 に従ってホストとドメイン名をサポートしています。

---

## サンプルの自動 FQDN の生成

このセクションでは、自動的に生成された FQDN を作成する例を提供します。

---

**ステップ 1** 適切なクラス サービスを選択し、このクラスのサービスを使用しているすべてのデバイスの DNS ドメインに `/fqdn/domain` プロパティ 値を設定します。この例の目的は、使用するドメインが `example.com` であり、ドメインに PacketCable デバイスの設定をプロビジョニングすることを想定しています。

(注) ドメインを指定しない場合、サービス クラスのデバイスはプライム ケーブル プロビジョニング から DHCP 設定を受信しません。

**ステップ 2** [Submit] をクリックします。`

この例では、MAC アドレス `1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff` を持つデバイスにより、`1-6-aa-bb-cc-dd-ee-ff.example.com` の FQDN が自動的に生成されます。

さらに、デバイスのデフォルト設定で FQDN の自動生成ラジオ ボタンを有効にします。[デフォルトの設定を参照してください](#)。

---

